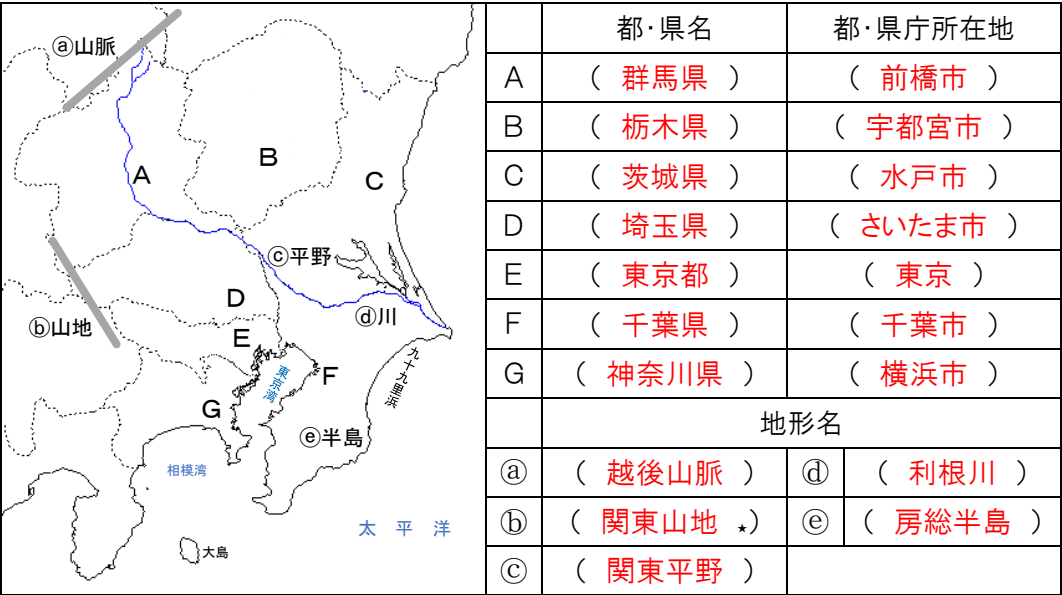


1

関東地方の自然環境

○日本で最も広い関東平野



関東地方：1都6県からなり、最も人口が多い

→(関東平野)を中心に、西は関東山地、北は越後山脈、阿武隈高地などに囲まれる

関東平野：(関東ローム層)に覆われた(台地)と、利根川などの河川沿いに低地が広がる
→17世紀初めに江戸幕府が開かれ、開発が進み人口が増加

下総台地などの台地：畑作地として開墾され、現在では住宅地やゴルフ場などがみられる

川沿いの低地：水田に利用され、都市部では高層ビルもみられる

海岸線：太平洋側には九十九里浜など、砂浜海岸がみられる
東京湾は大部分が埋め立てられ、埋立地は工業用地として利用

<日本の面積・人口に占める関東地方の割合(2019)>

面積 38万km ²	九州 11.8%	中国・四国 13.4	近畿 8.8	中部 17.7	関東 8.6	東北 17.7	北海道 22.0
人口 1.2億人	九州 11.4%	中国・四国 8.8	近畿 17.7	中部 16.9	関東 34.1	東北 6.9	

○内陸と海沿いで異なる気候

関東地方の気候：大部分が太平洋側の気候、内陸と海沿いで気候が異なる

内陸(北関東中心)：夏と冬の気温差が大きく、降水量が少ない

→冬に北西の(**季節風**)が越後山脈などに雪を降らせ、乾いた風が関東地方に吹き降りる

海沿いの地域(南関東中心)：黒潮が近海を流れ、冬でも温暖

→^{ぼうそう}房総半島や^{みうら}三浦半島で観光農園が盛ん

伊豆諸島などの島々：一年中温暖で、特に小笠原諸島は南西諸島と同じような気候

東京の中心部：高層ビルが立ち並び、気温が周囲より高くなる(**ヒートアイランド現象**)がみられる

関東地方の至る所：局地的大雨(ゲリラ豪雨)が発生

＜関東地方の主な都市の雨温図＞

